

『源氏物語』を和歌から読み解く

～三十一文字に込めた想いと表現～

『源氏物語』の和歌を読み解きながら作中人物の心を読み解いていきます。大きな苦悩を抱える光源氏、藤壺、柏木、女三の宮に焦点を当て、それぞれどのような想いを和歌に託したのかを探りたいと思います。

●日程及びテーマ

回	月 日	テ ー マ
第1回	5月25日(金)	紫式部の詠歌 ～紫式部の和歌観～
第2回	6月29日(金)	光源氏の詠歌 ～辞世の歌から～
第3回	7月27日(金)	藤壺の詠歌 ～密通と出産～
第4回	8月31日(金)	柏木の詠歌 ～恋死にする男～
第5回	9月14日(金)	女三の宮の詠歌 ～男に翻弄される姫君～

●講 師 池田 大輔 滋賀文教短期大学 国文学科 講師
担当科目:中古の文学、中世の文学

●時 間 14:00～16:00

●定 員 20名

●会 場 滋賀文教短期大学 実習館1階 湖国カルチャーセンター

●受講料 2,000円

*テキストは当カルチャーセンターでプリントを準備します。話し合いの時間を設けます。

●申込方法 はがき又はFAXにて

①講座名 ②氏名(フリガナ) ③性別 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号を明記してください。*お電話での申込受付は行っておりません。

●申込締切日 5月18日(金)

